

令和7年度 学校法人 今川学園 事業計画書

1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年12月17日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18

電話番号 072-337-1580

ファックス 07-336-3843

ホームページ <https://konomi-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園

定員480名

実員334名(満3歳児40名を含む)

④理事長氏名：今川公平

*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況

木の実幼稚園：園長1名・教員33名(内2名産休) 事務職員1名

派遣職員 バス運転士5名

業務委託 給食調理員4名

令和7年度 新規採用者1名

令和6年度 退職者3名

2、木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名 令和7年 幼稚園児実員294名(5月1日現在)+満3歳児40名年度内入園予定

満3歳児	2クラス	40名		
3歳児	5クラス	84名	前年度	97名5クラス
4歳児	5クラス	97名	前年度	116名5クラス
5歳児	6クラス	113名	前年度	107名6クラス
		334名		320名
未就園児クラス		30名	前年度	29名
総合計		364名	前年度	349名

②教育目標及び方針

【教育目標】

a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。 ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のことも思いやる事が出来る。

b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。

b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。

c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。

d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああしてみよう、こうしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。

e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。

f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。

g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

③保育時間

○月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40

Bグループ 10:10～14:40

預かり保育 早朝 午前8時から午前9時まで
放課後 午後5時まで

④保育料及び諸経費

○保育料～ 月額 40,000円(前年度比2000円+)

【食材料費 6,000円～前年度比1000円+を含む】

○バス協力費: 月額 5,000円(税込み)

⑤入園時の費用

○入園料: 1, 2年保育～40,000円 3年保育～50,000円

○設備協力費: 20,000円 進級時10,000円

⑥預かり保育

○月～金曜日: 13:40～17:00

○午前8時から保育始業まで早朝預かり保育を実施

○夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施計画

○4月／入園式、始業式

○5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練

○6月／参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診

○7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育

○8月／夏休み、地藏祭り、夏季保育

○9月／始業式、参観日、火災避難訓練、入園説明会・体験入園

○10月／次年度入園願書受付、運動会、新入園児面接、参観日

○11月／秋の遠足、日帰りキャンプ

○12月／音楽発表会、個人懇談会、終業式

○1月／始業式、ミュージアム遠足、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診

○2月／節分、造形展、入園準備説明会

○3月／卒園式、終業式

⑧ 主な新しい事業の目的・計画

1、満3歳児保育(通称 ぽっぽ組)を開始する

満3歳になった翌月から入園し、毎日登園できる満3歳児保育を開始する。すでにAコース「おひさま組」20名、Bコース「おやま組」20名の入園希望者が確定しており、令和7年4月誕生日を迎える子ども3人が翌月5月より入園、登園を開始し、令和8年9月には40名に達する計画である。

満3歳児専用の保育室を園舎東棟に設置し、専任担当教員2名を配置する。また2歳児週2日登園のナースリークラスも2クラス30名が入会する予定であり、ナースリークラスより20名が満3歳児クラスへ移動する予定である。これに従って、ナースリークラスの担当教員が満3歳児クラスへ1名移動する計画である。令和7年度中に、この体制の中で保育の充実を図る為、満3歳児用の教育課程・指導計画の編成と、保育室環境、園庭環境の整備を予算内で行う予定である。

2、私学助成園から新制度である施設型給付金を受ける幼稚園に移行する準備を開始する

少子化の進行と、コロナによる出生控え、また母親の就労増加等の複合的要因の為、令和6年度から園児数が前年度比33名も減少し、令和6年度は過去最大の経常収支悪化となる見通しである。

また、私学助成の要である大阪府からの経常費助成は大きな減額となり、将来的に従来の私学助成では、園児数減少に経営上堪えられないと思われる。この為、松原市と新年度早々に協議し、新制度ある施設型給付金を受ける幼稚園に変更する準備を開始する。

令和7年6月までには、新制度による試算を終え、7月までに学校法人 新役員による協議、承認を経て、新制度への移行を行う計画である。

3、送迎バス体制の再編

送迎バス利用者は、園駐車場の整備に伴い、年々利用者が減少しており、一部バスにおいては、園児が5名のみしか乗車していないケースもある為、経費悪化が確実である。これに対応する為、令和6年度中に、現在の5台体制から4台体制に再編を行う必要がある。令和8年4月より実施の方向で、コース再編を行う。

4、園庭遊具の改修、園舎南棟廊下部分天井ボードを改修する。

園庭の大型木製遊具の経年劣化が進み、遊具表面の洗浄と塗り替えを行う必要がある。また、園舎南棟廊下部分の天井石膏ボードの一部が風雨の為、一部落下するという状態となり、安全の為廊下部分天井板を全て張り替える必要がある。両方とも、応急対策を実施したが、令和7年度早々に改修工事を実施する計画である。